

§ 7. 整地設計

§ 7. 整地設計

7-1. 整地計画

整地設計については、現況の地形・水路等の条件・自然環境をふまえ、造成高さの設定をおこなった。

当該計画地は、周囲を道路に隣接して計画することから、アクセスする出入口の道路高にすり付ける計画とする。

当該計画地への出入口は、国道13号と市道駅西中央5号線になるため、それぞれの道路高がコントロールポイントとなる。

また、造成計画においては、敷地内に降った雨を速やかに排水するための表面勾配を考慮した高さ設定をする必要がある。

駐車場の造成勾配の条件としては、「設計施工マニュアル（案）【河川編・道路編】（東北地方整備局）P.2-3-7」の排水施設の設計を準用し、速やかな集水を目的として0.5%以上の勾配を確保するものとし、当該計画箇所地形形状を考慮し「0.7%」で計画するものとする。

3-3 排水施設の設計

1. 排水施設の勾配と断面

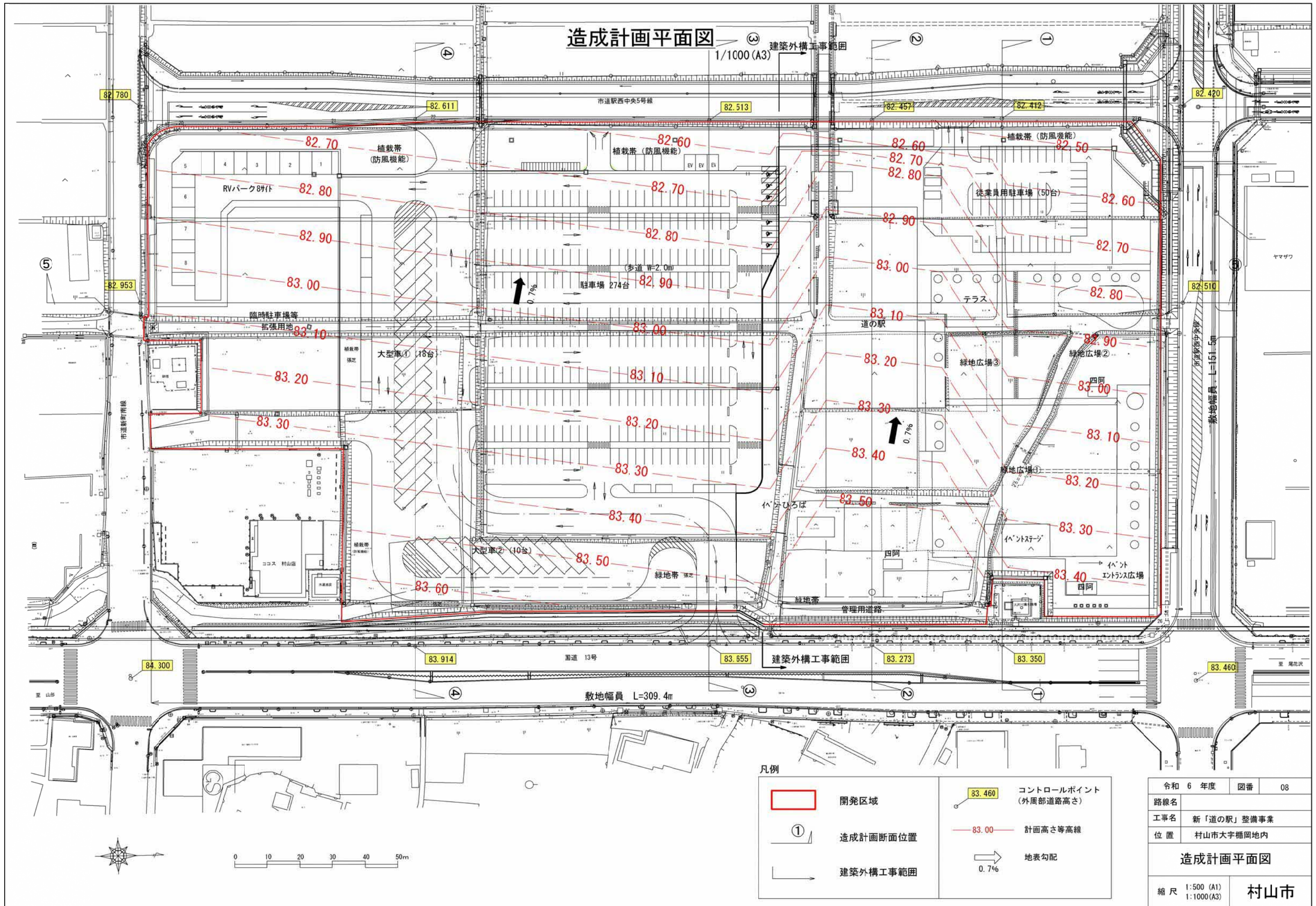
1) 勾 配

現地の状況その他を考慮して、勾配を定めるものとする。縦断勾配は、0.5%以上を原則とする。但しコンクリート側溝の場合は0.2%程度までゆるくすることができる。

設計施工マニュアル（案）【河川編・道路編】（東北地方整備局）P.2-3-7

次頁に整地計画に係る図面を示す。

1/1000 (A3) 建築外構工事範圍



令和 6 年度	図番	08
路線名		
工事名	新「道の駅」整備事業	
位 置	村山市大字楯岡地内	
造成計画平面図		
縮 尺	1:500 (A1) 1:1000(A3)	村山市

